

一般社団法人栃木県バスケットボール協会

令和6年度 定時代議員総会 議事録

日時：令和6年6月30日（日）18:30～19:30

会場：日環アリーナ栃木大会議室1

出席：〔理事〕 12名 小曾戸和彦、鈴木克美、直井秀幸、佐藤昭、梶崇司、益子基久、周藤真理子、  
菊地宜秀、斎藤宣子、佐藤圭一、高橋哲夫、日向野剛  
〔監事〕 2名 荻美紀、別井明彦  
〔新理事〕 3名 千村隆、濱口泰志、高野貴市  
〔代議員〕 4名 仙波晶平、菊田恵子、大高伸吾、小林真周  
〔委任状〕 39名 武井晋平、富田厚子、山中元、荒木享、栗田順之、高崎徹、長田美華、山崎雅洋、  
箕輪篤宏、近藤敏、松岡愛奈、中村恒貴、福田恭子、中山雅仁、柿沼昌史、  
福田精一郎、北條和寿、増山敬大、松井亮太、山崎大介、櫻井孝行、相沢光男、  
大坪祐二、小林一央、篠崎行雄、高橋繁雄、高山智行、田谷裕、仲井順、  
前沢武男、宮川正敏、村上愉彦、篠原誠一郎、今井英二郎、有田一也、田所純一、  
大森康史、大山賢史、柳澤毅  
欠席：〔理事〕 18名 片桐晃、鎌田眞吾、齋田一郎、渡邊諭、佐藤智信、藤本光正、井上尉央、渡邊整、  
日向野信行、阿久津宏一、増淵倫巳、大平幸造、小林幹央、渡邊明美、前原延之、  
網野友雄、山田将樹、大保寺真也  
〔代議員〕 11名 下島健一、野澤久美子、清水一也、藤田亜沙美、増山竜太、若林謙作、阿部信之、  
兼川良太、戸村裕之、井上隆之、岡龍哉

## 1 開会

司会：本日司会を務めさせていただきます直井です。よろしくお願いたします。

それでは、ただいまより、令和6年度一般社団法人栃木県バスケットボール協会定時代議員総会を開催いたします。

## 2 あいさつ

小曾戸会長：本日は皆様、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

皆様におかれましては日頃より本協会の諸事業にご協力をいただき感謝申し上げます。

本日の議題は五つございます。宜しくお願致します。

## 3 定数について（定足数報告）

事務局：定款及び定款細則（代議員）により代議員4名の参加と39名の委任状により3分の2以上が出席し定足数を満たした。

## 4 議事録署名人の選出について

司会：定款第30条により社会人連盟の仙波晶平氏とU12部会の 大高伸吾氏に願する。

## 5 議長選出

定款第3章第26条より代議員総会の議長をとして会長を選出する。

## 6 審議事項

(1) 第1号議案：令和5年度事業報告（案）について（専務理事）

### ●1の競技会開催事業について

県内大会行事予定表の記されている通り今年度の事業を実施した。（大会結果：別紙参照）

また、今年度の関東大会については、8月7～9日に「関東中学校大会」9月16～17日に関東社会人オーバーエイジ大会が開催された。

その他としては、「天皇杯2次ラウンド」「県民スポーツ大会」等への協力事業を実施した。

2の人事育成事業については、主に10月に開催される「鹿児島特別国体」出場に向けて8月の「鹿児島特別国体関東ブロック予選」で勝利するべく強化練習会等を実施したが残念ながら本大会への出場はならなかった。

（以下別紙資料参照）

アンダーカテゴリーについても地区DC・県DCともに育成事業（DC活動）を行った。

指導者育成・審判員育成・T0育成事業等についても年間を通して実施した。

特に、指導者育成委員会主催で「U12インテグリティ研修会」を初めて開催した。

その他として、ミニバスケットボールクリニックの実施や、栃木ブレックスとの委託事業、FIBA 3×3 WORLD TOUR UTSUNOMIYA OPENERの開催協力なども行った。

(2) 第2号議案：令和5年度決算報告について（専務理事）

- 収入の中で(1)「経常収益」の中で特に「入場料収入」のところが大きく増額となっているのは、今年度より当協会の参加団体となった「宇都宮市協会」が主管したWリーグ開催に伴う収入である。また「受取寄付金」についても同様に宇都宮市協会より寄付された金額が主に計上されている。その他、大きく減額となっているものとして「受取国体選手強化補助金」と「その他助成金」があるが、こちらはいずれも地元国体開催が終了したことによるものである。

- 支出について(2)「経常費用」の中の「管理費・交際費」の部分の増額は、久しぶりに開催することができた「新年会」への支出が主である。

これらの結果、「正味財産期末残高」が前年度より約一千万円増の28,476,856円となった。

(3) 監査報告

- 監査報告書を朗読（萩 監事）

<質問>

「経常費用の特に旅費交通費が大幅に減額されているのは、主に栃木国体での支出が影響しているのですか」（仙波代議員）

「その通りです」（専務理事）

○満場一致で了解を得る

(4) 第3号議案：令和6年度事業計画（案）について（専務理事）

●1の競技会開催事業について

県内大会行事予定表の記されている通り今年度の事業を実施したい。

今年度の関東大会については、2月に「関東高校新人校大会」3月に「関東ミニバスケットボール大会」が予定されている。

また、今年度開催の大きな大会として「10月と2月のWリーグ」、「9月の天皇杯・皇后杯1次ラウンド」、「11月末の皇后杯2次ラウンド」があげられる。

その他としては、「天皇杯2次ラウンド」「県民スポーツ大会」等への協力事業がある。

2の人事育成事業については、主に10月に開催される「第1回佐賀国民スポーツ大会」出場に向けて8月の「関東ブロック予選」で勝利するべく強化練習会等を実施していきたい。

また、アンダーカテゴリーについても引き続き育成事業を行っていきたい。

さらに、指導者育成・審判員育成・TO育成事業等についても引き続き今年度も実施していきたい。

その他として、ミニバスケットボールクリニックの実施や、栃木ブレックスとの委託事業、FIBA3x3WORLD TOUR UTSUNOMIYA OPENERの開催に加えて、FIBA3x3バスケットボールユニバーサルオリンピック予選2についても開催協力していきたい。

(5) 第4号議案：令和6年度収支予算（案）（専務理事）

●令和6年度収支予算について、最も大きく変わった点は登録料収入である。すでにご承知の通り、今年度よりJBAからいただいていたD-fundに大会事業費が含まれなくなったため、チーム登録料・競技者登録料について値上げさせていただいた。その分の収入が増収となっている。その他については前年度とほぼ同様の予算編成となっている。結果、経常収益計が72,557,000円となる。支出については、この7月1日より常勤の事務員を雇うため、給与手当が増額されている他は大きく変わっているところはない。結果、単年度決算が200万円の黒字となった。今回の予算編成で留意した点は、収入は最小で、支出は最大であることを検討させていただいた。

○質問なく承認される。

(6) 2024-25役員改選について

●資料にあります通り、2024-25新役員を選考させていただきましたのでよろしくお願ひします。

<質問>

前年度の役員（理事）数は30名であったかと思いますが、今年度は29となっています。1名減となった理由はありますか？（仙波代議員）

(会長)

特にはございません。定款では理事総数は5名以上となっていることと、前年度は栃木国体の

関係で特任理事が2名いらっしゃいました。

○承認される。

(会長)「ここで少々お時間をいただき、新理事による臨時の理事会を開催させていただきます」

「お待たせいたしました。」

「新役員名簿をお配りします。」

「主な役員を発表いたします。」

会長：小曾戸和彦（留任）

副会長：高橋哲夫（新任）・千村隆（新任）・鎌田眞吾（留任）

専務理事：鈴木克美（留任）

常務理事：直井秀幸（留任）・渡邊諭（留任）・藤本光正（留任）・荒木享（新任）

以上です。

せっかくの機会ですので、ご出席いただいている新役員の方の一言ご挨拶をいただきたいと思えます。

<高橋哲夫副会長>

私は現在、宇都宮市協会の会長も兼務しておりますがこれから副会長として宜しくお願い致します。

<千村隆副会長>

皆さんこんばんは。宇都宮工業高校の千村です。

先ほどの小曾戸会長から副会長を打診されました。

これから少しでも協会のご協力できるように頑張っていきたいと思えますので宜しくお願い致します。

<鈴木専務理事>

引き続き専務理事をお引き受けいたします鈴木です。

今回 JSB（日本社会人バスケットボール連盟）の役員（理事）もお引き受けすることになりさらに忙しくなるとは思いますが皆様のお力をお借りして頑張っていきますので引き続きよろしくお願い致します。

<直井秀幸常務理事>

常務理事をお引き受けいたしました直井です。

会長・副会長・専務理事をお支えして、さらには皆様のお力をお借りして協会運営を頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

## 8 その他

特になし

## 9 閉会

司会：以上を持ちまして総会を終了いたします。皆様のご協力でスムーズに進行することができました。ありがとうございました。

2024年6月30日(日)

議 長

氏 名 小曾戸 和彦

議事録署名人

氏 名 仙波 晶平

議事録署名人

氏 名 大高 伸吾